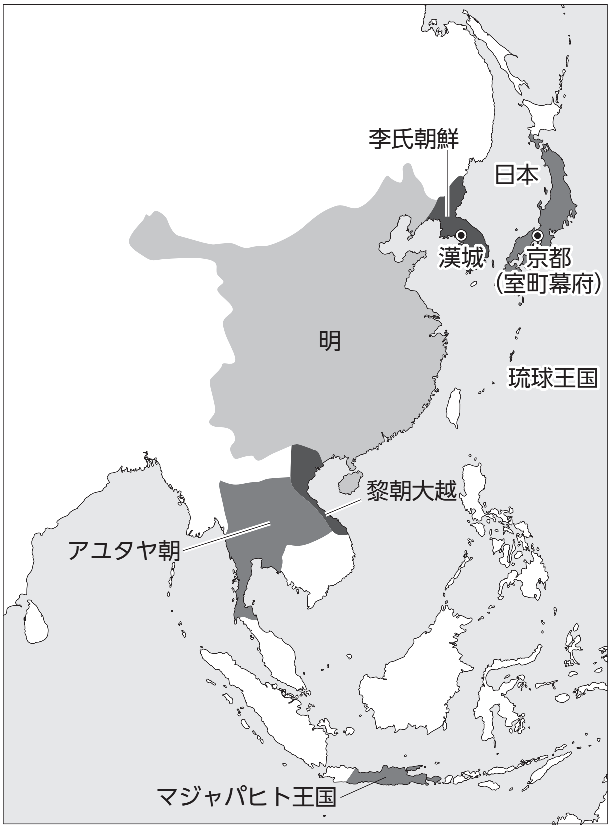
第 10 講 【近世編】アジアの繁栄

PART4 明代の東アジア世界と明の社会

Chapter 1　明代の東アジア世界

目標
朝鮮王朝（李朝）と明の関係性を理解しよう。
日本が明とどのような貿易をしていたのか確認しよう。



明代の東アジア王朝

1　琉球や東南アジア

①［　　　　　　　　　］（1429 年～ 1879 年）

［　　　　　　　］（尚氏）により統一され，成立

→明に朝貢し，中継貿易で繁栄

②東南アジア

A　鄭和の遠征

鄭和の遠征を受け，ジャワ島の**マジャパヒト王国**やタイの**アユタヤ朝**が明に朝貢

B　ベトナム

〔　　　　〕大越が明を撃退し，自立

2　朝鮮王朝

①〔　　　　　　　　〕（**李朝**）（1392 年～ 1910 年）の成立

1392 年,〔　　　　　　〕が**高麗**を打倒して建国。首都を〔　　　　〕（現ソウル）に置く

②明との関係

明と冊封関係を結び，朝貢。朱子学や科挙を導入

③朝鮮王朝の発展

15 世紀前半，第 4 代君主**世宗**のときに中央集権的体制が整い，最盛期を迎える

A　出版

〔　　　　　　　　〕を用いた活版印刷が実用化され，出版が盛んに行われた

B　〔　　　　　　　　〕（**ハングル**）

独自の表音文字が考案された

3　日本の状況

①室町幕府の南北朝合一

1392 年，第 3 代将軍**足利義満**が南北朝の合一を成し遂げる

②〔　　　　　　　　〕（**日明貿易**）

足利義満が明から冊封を受け，貿易を開始

③戦国時代（15 世紀末～ 16 世紀末）

A　織田信長の台頭

→豊臣秀吉の天下統一

B　豊臣秀吉の朝鮮出兵

（文禄・慶長の役，1592 年，1597 年）

まとめ　朝鮮王朝は明に朝貢すると，科挙や朱子学を制度として導入した。
足利義満は明に朝貢し勘合貿易を行い利益を得た。

Chapter 2　明代の社会と文化

目標
明代の儒学はどのような変化を遂げたのか確認しよう。
来朝したイエズス会士が中国に与えたものについて知ろう。

1　明代の経済と社会

①農業

A　長江中流域が最大の穀倉地帯に

→**「湖広熟すれば天下足る」**といわれる

B　商品作物栽培の拡大

蘇州の絹織物と生糸，**杭州**の茶など

②手工業

〔　　　　　　〕が陶磁器の一大産地に発展。**染付**と**赤絵**の作製など

③商業

山西商人や**徽州（新安）商人**などが明朝と結びつき，特権商人として活躍

→〔　　　　　　　　　〕を形成し，商業活動の拠点とする

④華僑の増加

中国南部の沿岸地方出身者が海外に拠点を移し，商業活動などに従事（**南洋華僑**）

⑤税制度

人頭税と土地税を併せて銀納する

〔　　　　　　　　〕が定められた

※**メキシコ銀**や**日本銀**が大量に流入し，銀が主要通貨になっていたことが背景。

⑥社会

〔　　　　〕が地主となって佃戸を使役

→〔　　　　〕（小作料不払い）運動などの農民反乱がしばしば発生

明代の産業地域

2　明代の文化

①中国四大奇書の完成

四大奇書と呼ばれる『**三国志演義**』〔　　　　　　　　〕

『**西遊記**』〔　　　　　　　　〕が完成

②〔　　　　　　〕の成立

〔　　　　　　〕（**王陽明**）が心即理と知行合一を主張して創始。朱子学を批判

→**李贄**が発展させる

③大編さん事業

『**五経大全**』『**四書大全**』『**性理大全**』（儒教の経典の注釈書）〔　　　　　　　　　　〕（百科事典）が編さんされた

3　明代の技術とイエズス会士の来朝

①実学の発展

現実に役立つ学問（実学）が発展

→**李時珍**の〔　　　　　　　　　　〕，**徐光啓**の〔　　　　　　　　　　〕，

宋応星の〔　　　　　　　　　　〕などが刊行された

②イエズス会士の来朝

イエズス会士がヨーロッパの技術などを中国に伝えた

A　イタリア人〔　　　　　　　　　　　　〕の〔　　　　　　　　　　　　〕

作製や『**幾何原本**』の翻訳協力

B　ドイツ人〔　　　　　　　　　　　　〕の『**崇禎暦書**』

まとめ　知行合一を唱える王守仁により陽明学が創始された。
イエズス会士によってヨーロッパの技術が中国に紹介された。

第 10 講 PART 4　確認問題

1 15 世紀前半に中山王により統一され，成立した国はどこか。

① 黎朝　② 高麗
③ 大越　④ 琉球王国

2 朝鮮王朝（李朝）の首都はどこか。

① 大都　② 金陵
③ 開城　④ 漢城

3 訓民正音を制定するなど，朝鮮王朝の最盛期を築いた王はだれか。

① 李成桂　② 李世民
③ 世宗　④ 高宗

4 足利義満が中国の王朝と行った貿易はどれか。

① 勘合貿易　② 中継貿易
③ 日宋貿易　④ 密貿易

5 明代に陶磁器の一大生産地となった都市はどこか。

① 蘇州　② 杭州
③ 景徳鎮　④ 洛陽

6 人頭税と土地税を併せて銀納する明代の税制度はどれか。

① 両税法　② 一条鞭法
③ 抗租　④ 均輸・平準法

7 陽明学を創始したのはだれか。

① 陶淵明　② 王守仁
③ 朱熹　④ 李贄

8 『坤輿万国全図』を作製したのはだれか。

① マテオ＝リッチ　② 徐光啓
③ アダム＝シャール　④ 宋応星

第10講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：④　**中山王（尚氏）が琉球を統一し，琉球王国が成立**した。

2 解答：④　**朝鮮王朝が首都に定めた漢城**は現在のソウルである。①の大都（現・北京）は元の，②の金陵（現・南京）は明の，③の開城は高麗の首都である。

3 解答：③　李成桂が創始した**朝鮮王朝は，第４代世宗のときに最盛期を迎えた**。

4 解答：①　**足利義満がはじめた日明貿易を勘合貿易という**。倭寇と区別するために明が発行した勘合と呼ばれる割符を携帯したため，この呼称がある。

5 解答：③　**陶磁器の一大生産地となった景徳鎮**では，染付や赤絵の技法ですぐれた陶磁器が作製された。明代には蘇州で絹織物や生糸，杭州で茶などの商品作物が盛んにつくられた。

6 解答：②　メキシコ銀や日本銀が大量に流入していたため，**銀で納める一条鞭法**が取り入れられた。

7 解答：②　**陽明学を創始したのは王守仁（王陽明）**である。③の朱熹は朱子学の創始者，④の李贄は王守仁の後に陽明学を発展させた人物である。

8 解答：①　中国最初の世界地図**『坤輿万国全図』を作製したのはイタリア人のイエズス会士マテオ＝リッチ**である。③のドイツ人のアダム＝シャールは『崇禎暦書』を作成した。